

法人化に想う
～縦の絆・横の絆～

会長 上野朝子

今年度4月より、愛知県女性薬剤師会は一般社団法人となりました。今までの任意団体から社会的責任を負う自立した人格をもつ団体に移行したわけです。会員の皆様の不断の努力と先輩が築いてきた伝統の力の賜と深く感謝し、新しい組織の出発に身の引き締まる思いが致します。

昭和29年に私たちの先達が、愛知県婦人薬剤師会として女性の自立と医薬分業を願って立ち上がり、今年で58年の長い歴史を刻んで参りました。その間には様々な曲折があり、折々の節目に、先輩達の貴重な活動が記録されております。医薬分業は地域による差はあるものの60%以上に達し、また、悲願でありました6年制薬学教育を受けた第1期生を迎えることになりました。歴史は弛むことなく確実に歩を進めています。

今、歴史を紐解くとき、先人達の日々の記録は、その内容の斬新さに驚かされます。女性が自分の道を歩むことが困難な時代にあって、心を合わせて前進を続けてきたこの女性薬剤師のエネルギーは、次の世代に引き継いでいかねばなりません。薬剤師人口の60%強を女性が占める時代にあって、私たち女性薬剤師は行動に責任を持たねばなりません。

昨年の東北大震災・福島原発事故は効率を求めて邁進してきた現代社会に警鐘を鳴らし、人間性豊かな「絆」の大切さを再確認させられました。私たち女性薬剤師は、生活者の視点と医療の専門性を併せ持つ存在に誇りを持って社会に貢献して行かねばなりません。

しかし、仕事と家庭の両立は現代にあってもなお困難な状況です。世界経済フォーラムは平成23年11月にジェンダーギャップ指数を発表し、日本は135カ国中98位でした。また、「お母さんにやさしい国ランキング」で、日本は165カ国中30位—国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン」がこんな発表をしています。産休・育休制度の未整備・こども指標・国会議員に占める女性の割合の低さなどが理由に挙げられています。

愛知県女性薬剤師会では、そうした困難な状況であっても時代に合った成長をつづけた意欲をもつ会員を対象に、年数回の最新の内容をもつ研修会を開催し、また、諸般の事情で就業困難な在宅の会員には、日本女性薬剤師会編集「診療ガイドライン薬剤コース」の通信教育とスクーリングを提供して、時代とともに進めるようサポートしています。また、県下15の女性団体が加盟する愛知県女性団体連盟に参加して、医療職ほか多職種の女性団体との交流と連携を図っています。

閉塞感の漂う昨今ですが、様々な困難な状況も、共に励まし合い**《横の絆》**、先人から受け継ぐ伝統**《縦の絆》**が交差するところに生まれる**《創造》**のエネルギーで未来を開きましょう。

愛女薬のモットー【愛・知性・勇気】を旗印に。